

今までの歩みに確信もち、結成15年目の活動に奮闘しよう

私たちは今日から結成15年目の活動を開始します。結成以来丸14年間、私たちは全国革新懇が掲げる「革新三目標」と損保産業の民主化を実現する「三座標軸」を掲げ、多彩な活動を展開してきました。

結成15年、節目の年の幕開けに際して、主な活動を振り返ってみます。

- 2000年と2006年には平和と損保産業のあり方を取り上げたブックレット『損保の未来』、ブックレット『私たちが憲法改悪に反対します』を刊行、それぞれ7000部以上を普及しました。
- 2002年から『大阪損保革新懇ホームページ』を開設、記念講演・毎年の総会アピール・シンポジウム議事録・ニュースなどすべての活動を全国の仲間へ発信しています。
- 現在、全国7つの損保革新懇と7つの損保9条の会が活躍しています。2005年8月、品川正治講師を招き、150名で『世界平和を広島で考える』集会を成功させました。全国のセンター的な役割も担っています。
- 『大阪損保革新懇ニュース』を129号まで発行し、仲間をつなぐマスコミとして機能しています。
- 2008年・2009年・2010年の3回、シンポジウム『損保産業の社会的役割を考える』を開催、代理店・共済問題を取り上げ、問題提起をおこなっています。また2008年2月に発足した「代理店プロジェクト」は定期的開催され、32回を数えています。2011・2012年には近畿総務局に、代理店問題について要請しました。
- 2011年3月11日の東日本大震災で、損保産業は社会的役割の発揮が求められました。現地調査・支払いに大阪から多くの仲間が長期出張しました。6月、『現地報告会（被災者の心と触れ合って）』を開催。7月、『原発ゼロ社会の実現をめざす』アピールを発表。署名活動を展開、約1800筆集約して提出しました。
- 2012年度の第14回総会での安斎育郎氏『原発ゼロ社会をめざす』講演は160名を超える仲間が参加、松浦世話人報告『原発リスクと損保産業の社会的役割』も話題を呼んでいます。本年度は『震災・経済復興・損保産業の役割』をテーマに連続学習会を開催、毎回50～60名の参加が参加しています。「3・11原発ゼロをめざす大集会」「8・10関電本社前抗議集会」「大飯原発再稼働反対バスツアー」にも多くの仲間が参加しました。
- 大阪の職場革新懇活動の発展のため、損保・国公・銀行・証券・NTT・パナニックの6革新懇で構成する大阪職場革新懇連絡会に参加しています。『全国革新懇交流集会 in 大阪』の成功に向けて、ブックレット『職場革新懇運動をどう進めるか』を共同執筆、全国に呼びかけ、損保の仲間には800部以上を普及しました。
- 毎回の世話人会議には30名を超える仲間が参加しています。世話人会や学習会の後に女性会員の手作り料理で交流しあうことも定着しています。毎年総会後の2次会には、100名近い仲間が参加し、交流しています。現在、8つの会社の300名を超える仲間が会員として活動に参加しています。会員は新入社員から管理職まで、また代理店・OBと多様な経験者を擁しています。

今、世界も日本も情勢は激動しています。日本国民は3年前に政権交代を実現しましたが、民主党政権は見事に裏切り、第二自民党化しています。自民・公明党は野田首相の「近いうちに解散・総選挙」の言葉で消費税引き上げを容認しました。二大政党路線の破たんがますます明らかになっています。「日本維新の会」も日を追うごとに新自由主義型の本性・本質が明らかになり、一時のブーム現象から後退しています。

このような情勢のもとで、全国の各分野で国民的な運動が高まっています。

「憲法改悪阻止」「消費税増税反対」「原発ゼロ実現」「日本経済の復興と震災対策の推進」「教育・社会保障・福祉・医療制度の後退反対」「普天間基地廃止・オズプレイ撤退」「TPP参加阻止」「大阪維新の会による府政・市政の横暴を許さない」など大きなたたかいのうねりが巻き起こっています。

三メガ体制の損保産業では新しい合理化・効率化政策が展開されています。私たちは12月5日に「今日の雇用問題を考える」講演会を開催します。

結成15年目、意義ある一年の活動を開始するにあたって、革新三目標と損保革新懇三座標軸をあらためて確認し、新しい政治の実現を求める多くの仲間とともに連帯して奮闘しようではありませんか。

2012年11月8日
大阪損保革新懇第15回総会